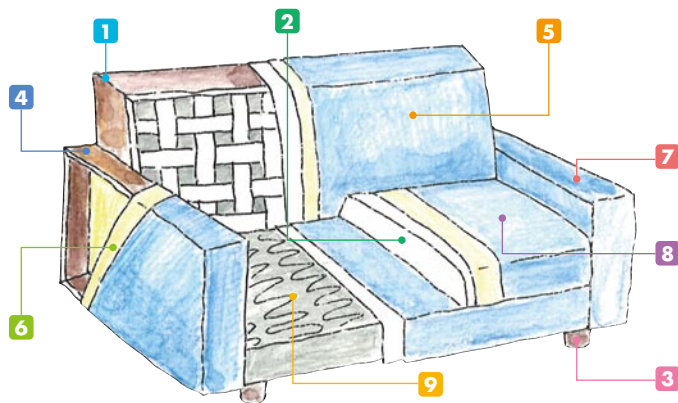


ソファの選び方

家族が集うリビング、その中心はソファです。くつろぎのアイテムとしてデザインだけでなく使い心地、サイズを考えて検討したいもの。今回は、ソファの構造や素材、選び方など基礎知識をご紹介します。



ソファの構造と選ぶポイント

1 フレーム

骨組みとなるフレームに、衝撃吸収材とクッション材が設置。

背：背が高いと安定感があると同時に大きく感じ、背が低いとどこに置いても圧迫感がなく、部屋を広く見せる効果があります。

●選ぶポイント

体を支える背の高さもですが、体全体が支えられているかが重要。サポート面積が大きいほど体は楽なので、高さ、デザインを選ぶ時に、おしり、太ももの裏側、ふくらはぎが接しているか確認を。

ここをチェック!

2 クッション材、充填材

密度や硬さ、構造により、座り心地や耐久性が変わります。

●選ぶポイント

お店に断ってから、座る、横になる、ひじ掛けにもたれるなど思いつく格好を試してみましょう。2人掛けの場合は、座面幅は最低でも140センチ、奥行きは70センチのものがおすすめです。

3 脚

木材やスチールなど脚が見えるものと隠れているものがあります。

4 ひじ枠

5 上張り地

ソファの表面材。革張り、布張り、合成皮革が一般的。

●選ぶポイント

上質の革は、通気性、吸湿性がありますが、摩擦や水ぬれによる色落ちに注意。色、柄、素材など選択肢の多い布は、洗えるものがベスト。合成皮革は水拭きができ便利です。また上張り地は部屋のイメージを左右します。自分の生活スタイルに合わせて、機能やデザインを選びましょう。

6 ウレタンフォーム

7 ひじ掛け

木枠でフラットなものはサイドテーブル代わりに。ポリウムを抑えたいなら、厚みが薄いものやひじ掛けがないものを。

8 座

スプリングやクッション材によって座り心地が変わります。

9 衝撃吸収材

ソファの品質と寿命の決め手。コイルスプリング、波形スプリング、ウエビングテープ、ウレタンフォームの4種類が代表的。

ライフスタイルや予算を考慮して内部構造と上張り地を…

ソファの価格差は、内部構造と上張り地の違いです。座り心地や耐久性、デザインにこだわり、コイルスプリング、密度の高いウレタンフォーム、革張りなどを組み合わせたソファは高価。逆に衝撃吸収材と充填材の両方がウレタンフォームで合成皮革や化繊布張りのソファは手頃な値段になります。ゆったりとしたくつろぎを求めれば前者を。小さなお子さんやペットがいる住まいには、後者の合成皮革や布張りのソファの方が重宝するなど、ライフスタイルに合わせて選びましょう。

バックナンバー 『第181号座り心地のよい椅子を見つける』『第210号インテリアのスケールバランス』もあわせてご覧ください。

上村建設

<http://www.e-uemura.jp>

住まいの宝箱

<http://www.e-juutaku.com>

賃貸物件をお探しの方は

<http://www.happy-house.co.jp>

★詳しいお問い合わせは各支店まで。電話番号は裏面をご覧ください。